



高原の自然館ニュースレター

# 苅尾電波塔

第 66 号

2009.7.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。  
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」  
の名前をつけています。

## も く じ

### おしらせ

- ー 観察会の集合時間の変更について
- ー 中国新聞で植生調査が紹介されました
- ー 高原の自然史 第 14 号を発行しました
- ー 『苅尾 17 号』の原稿を募集しています
- ー 第 8 回 草原サミット・シンポジウムが  
開催されます（別紙）

### 活動報告

- ー 龍頭山の野鳥観察会
- ー 聖・高岳の植物観察会
- ー 苅尾の昆虫観察会
- ー 霧ヶ谷湿原の植生モニタリング 夏

### 観察会案内

- ー 霧ヶ谷の観察会 夏のいきもの観察会
- ー こども観察会

## お し ら せ

### ● 観察会の集合時間の変更について

こども観察会の集合時間に変更になりました。  
変更前：7 月 26 日（日）13:30 集合  
変更後：7 月 26 日（日）9:30 集合

### ● 中国新聞で植生調査が紹介されました

6 月 28 日（日）の中国新聞朝刊で、西中国山地  
自然史研究会が行った「霧ヶ谷湿原の植生調査」の  
様子が紹介されました。どうぞご覧下さい。

### ● 高原の自然史 第 14 号を発行しました

高原の自然館の研究報告、高原の自然史第 14 号  
を発行しました。販売価格は 2,000 円です。ただし、  
西中国山地自然史研究会の会員は、1 冊に限り、割  
引価格の 1,600 円で購入できます。高原の自然館  
でお求め下さい。

### ● 『苅尾 17 号』の原稿を募集しています

西中国山地自然史研究会の会報『苅尾』の原稿を  
募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物  
に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛など  
で、600～1600 字程度にまとめてください。今回  
は草原の特集を組む予定です。雲月山や千町原など、  
草原にまつわる記事があれば、ぜひご投稿ください。  
写真を大歓迎します。あなたのみつけた小さな発見  
を、会員のみなさんにも伝えてください。

## 観 察 会 報 告

### ●龍頭山の野鳥観察会

開催日時:2009年6月13日(土)6:00

講師:上野吉雄

龍頭山の野鳥観察会は、今年で3回目です。去年と同じ下の駐車場からスタートしました。車から降りるとすぐにエナガの鳴き声、姿が確認でき、早速に観察会の始まりです。ヤマガラやカワラヒワ、メジロと次々と姿を見せてくれるので、鳴き声を聞いたり、上野先生の説明を聞いたりしました。上に向かって移動しながら、キビタキ、イカル、カケス、ヒガラなども観察しました。途中の水辺では、モリアオガエルの卵塊があり、木にはモリアオガエルの雄もいました。そして少し高い木の上にはアオダイショウの姿も見え、小学生の参加者は興味津々で見つめていました。その後も聞こえてくる鳥の声に耳を傾けたり、咲いている花にも目を向けたりとゆっくり歩きました。最後に池に行き、水辺の鳥を観察しました。カワセミのひなが木にちょこんととまっている姿が可愛らしかったです。今回の観察会では、28種類の鳥を確認できました。[このやよい]



「ツツピー」と鳴くヤマガラの姿も。



コアジサイがきれいに咲いていた。



図鑑をみて、上野先生が解説中。



高い木の上にいるエナガやメジロの姿がよく見えた。



道に落ちていたオトシブミ。



スギ林の中にいるらしき鳥を待つ・・・



池ではカルガモ、ツバメ、カワセミ、ゴイサギを観察。



カワセミのヒナがかわいいね、とみんなでわいわい。

### 【みなさんの印象に残った物】

「見る気になればたくさん鳥がいるんですね」「つばめの巣立ち雛」「カワセミ(4)」「へび」「カワセミの親子」「枝にはりついていた青大将」

### 【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「徐々に双眼鏡で鳥たちをゆっくり見たり声を聞けるよい雰囲気でした」「アカショウビンのなかまがみれたのでうれしかったです。」「たのしかったです」「カワセミの色がきれいでした」「ゆっくり観察できて良かったです。距離が調度いいです」「ツバメ、カワセミのヒナが見れて良かったです。」「又、次回を楽しみにしています。」「大変楽しい時を有り難うございました」「上野先生を始めスタッフ皆様に感謝します」「姿が見えた鳥は少なかったけど声はたくさん聞けたのでよかった」

## 観 察 会 報 告

### ● 苅尾の昆虫観察会

開催日時 : 2009年6月20日(土) 17:00

講師 : 清水健一

17時に高原の自然館に集合し、観察会を行う臥龍山の雪霊水前まで移動してもまだ日は高く、ライトトラップの準備をしても十分時間がありました。近くにいる昆虫を捕まえたり、臥龍山の山頂まで登ったり、講師の清水先生にガのお話を聞いたり、良く鳴いているアカショウビンの声に耳を傾けたり、と思いつきの時間をすごしました。19時半を過ぎると暗くなり始め、ライトトラップのライトが点灯され、さあ、観察開始です。おなじみ大きな白いガのオオミズアオや、とにかくたくさん集まったカクモンヒトリ、ビロード模様がきれいなビロードナミシャクなど、次々とライトに集まってきました。めずらしそうなガを見つけると、先生に「これはなんですか?」と質問して名前や生態を教えてもらいました。子どもの参加者も、それぞれお目当てがあるらしく、じっと集まってくるガにじっと見入ったり、おそろおそろさわってみたりと、観察会でしか体験できないことを満喫していました。そろそろ終了しようか・・・との声があがりだした頃に、コクワガタやミヤマクワガタが姿を現し、また参加者のテンションは上昇しました。子どもたちだけでなく、男性の参加者からも「クワガタカッコイイ!」という声があがっていました。夜に活動する虫がたくさんいることがわかり、ブナ林の種の豊かさを感じた観察会となりました。[このやよい]

苅尾山の特別保護地区での観察会とのことで期待して参加しました。夜の昆虫観察として月令、気温、無風等の条件は申し分なく、楽しい観察会ができるものと大いに期待して雪霊水まへの駐車場にライトトラップを設置しました。期待どおり多数の蛾が飛来し、今までの観察会のなかでは最多の飛来でした。やや時期が早いかと思っていたクワガタムシもミヤマクワガタが多数飛んで来て子供さん達は大喜びでした。そのなかでも白くて黒い斑紋があるカクモンヒトリと、止まっていると細長く、黄色い緑取りのあるマエキクロホソバの2種類の蛾が目につきました。いつもどおり大きな我、ハネナガ

ブドウスズメ、数は多くはなかったがオオミズアオ等が人気ありました。参加された方々には十分満足のいく観察会であったと思っています。苅尾山は植物の種類も多く、それらの植物の生活を託す蛾類も多いことがお分かりいただけたと思います。苅尾山の蛾については、高原の自然史(創刊号)に相良・桑原・宮川氏による広島県芸北町の蛾類目録のなかに苅尾山産の蛾類として132種類が報告されています。その後、清水により広島虫の会会報47号に苅尾山の蛾類として420種を報告されています。両報告には重複している種類もあると思われるので、おそらく500種前後報告されたことになると思います。豊かな自然と相俟ってまだまだ多くの蛾が記録されるものと思います。今回、採集した蛾のなかに上記二つの報告に含まれていない、新たな種類があればと思っています。いずれにしても、もう少し標本を調べて見なくてははいけません。いずれ標本を整理して、来年は高原の自然館に持参いたしますので、興味がおありならまた見にきてください。終わりに皆様も感じられたとおもいますが、多数の蛾と大勢の人達では仕方なかったと思っておりますが、大量の蛾が踏み潰されたことで蛾好きには少し心が痛みました。[清水健一]

注: 臥龍山特別保護地区での無断採取は禁止されています。今回の採取は、北広島町自然学術調査に伴う許可を得て実施しました。



清水先生が準備をしている間、参加者同士で虫や花の情報交換。



ビーティングネットが登場。木をたたき、落ちてきた虫を観察する。なんとこのネットは手作りだそう！！



最後のまとめで清水先生に質問する小学生。清水先生に教えてもらった「チョウとガの違いや見分け方」を小学校でも発表したそう。



19時45分頃になり、ライトを点灯し観察が始まった。

### 【みなさんの印象に残った物】

「とても大きなガがたくさん飛んでいたこと」「ガの多さにおどろいた。」「シテムシ」「オオミズアオが沢山(2)」「ミヤマクワガタ」「いろいろなガがいて、楽しかったです。」「クワガタがいた」「クワガタが立つところがよかったです。」「ものすごい数のガ！」

### 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「ガ一つとっても種類がいっぱいることを身をもって体験させていただきました。」「時間が経つにつれて、ガの多さに圧倒された。ガを観察し勉強になりました。」「灯火の威力はすごい」「全体数が多かった」「カクモンヒトリがきれいでした」「これから、いろいろなガをしらべてみたいです。」「たくさんの虫がとんできて感動した。」「たのしかったです。」「おもしろかったです。」「自然度が高いと種数も多いとつくづく思いました」



オオミズアオに触れてみる。近くでみるとユーモラスな顔つきだ。

## 観 察 会 報 告

### ● 聖・高岳の植物観察会

開催日時 : 009年6月14日(日) 9:30

講師 : 斉藤隆登

今年が初めての企画となる聖・高岳の植物観察会です。当日の飛び込み参加が多く、全人数38人を確認し、事務局も3人で先頭、中程、最後尾と配置しての出発です。講師の斎藤先生以外にも、植物に詳しい方が多数いらっしゃるので、とにかく誰かに声をかけて聞いて見て下さいということでした。まず、聖湖湖畔から中之甲方面へ向かう道をゆっくり聖山登山口まで歩き、観察しながら移動しました。ツクシミノボロスゲ・ヤマジスゲ・サワヒメスゲ・ショウジョウスゲ等々、普段あまり耳にしないスゲの名前がたくさんでてきてびっくりです。オオナルコユリの花、フウリンウメモドキの小さい花、ウワミズザクラの幹のクマの爪痕などを観察し、全体が到着するまで、登山口で待つことしばし。ソウシチョウが笹原ですえずり、タゴガエルが「ガ、ガ、ガ」と鳴き、ハルゼミが「ムゼームゼー」と鳴いていました。先の行程を考えると、少しスピードアップしないと帰れなくなるということで、聖山頂まで一列縦隊になり、早足の観察会です。フタリシズカやイチヤクソウのつぼみ、コショウノキ、クモキリソウのつぼみ、コナスビの黄色の花などがありました。聖山の山頂で、登山観察会では恒例の記念撮影をし、高岳への分岐までもどって昼食です。皆さんまわりにある植物を観察したりと楽しい休憩時間でした。が、これからがアップダウンの厳しい縦走路でした。その中でもササユリやツクバネウツギ・オオイワカガミ・オオバノトンボソウなど、心を和ませてくれる草花にたくさん出会えました。高岳の山頂からは聖湖も展望でき、ここでも遠くにかすむ苅尾をバックに記念写真です。ナツハゼの花が可愛らしく、皆さん写真を撮られていました。山岳連盟の斎さんを先頭に、15時半の目標のとおり、下山することができました。湖畔をゆっくり歩ながら、ハンショウヅルやササユリ・マムシグサ(雄・雌)など観察しながら駐車場まで帰り、アンケートの記入と次回観察会の予告をして終わりました。内藤先生にモリアオガエルを見せてもらいました。[やなぎざまのぶこ]



38人という大人数で出発！



スゲを説明中の斉藤先生。



木の下で咲いていたギンリョウソウ。



聖山山頂にて記念撮影。



咲いたばかりの綺麗なササユリ。



高岳山頂からの眺め。聖湖がよく見えて気持ちよかった。

## 【みなさんの印象に残った物】

「ササユリ」「山での植物、いきもの、いろいろな知識をしったこと」「とにかく大変でした。」  
「今までにない植物の多さ高岳の遠さ」「サルナシの花がきれいでした。」  
「気になる樹木の生をたくさんおしえてもらったこと、」  
「高岳からの聖湖と臥竜山の景色がすばらしかった」  
「高岳頂上からの湖の景色」  
「カスミサンショウウオ、モリアオガエル」「マムシグサ(2)」「高岳の景色、アサギマダラ」  
「シロバナニガナに合ったこと、ひたすら下山したところでヤグルマソウが何本も咲いていた。」  
「コナラ、コシアブラ、スノキ、リョウブ」  
「道がけわしかった」  
「沢山の植物を教えてもらったこと」  
「アップダウンが多くてきつかったですがササユリを見られてうれしかったです。」  
「植物の名前をたくさん教えてもらったことです」  
「聖と高岳に登れたことが印象に残っています」  
「原生林と里山の木の違いについてマムシグサにオス・メスあることを初めて知った」  
「ハンショウヅル ナツトウダイ」  
「モリアオガエルを見たこと」

## 【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「もう少しゆっくり見たかった」「少しハードでした」  
「良かったです」「ひとつの山にしてしっかり観察して頂きたかったです。」  
「つかれたが楽しい山でした(3)」「大人数でにぎやかで楽しかったです。」  
「専門の先生方が多くとても勉強になりました。」  
「大変良いお天気の中での登山が楽しかったです」  
「初めて見られて感動」  
「よく歩きました。気持ちよかったです」  
「山歩きはたいへんでしたが、珍しい植物が見れて良かったです。」  
「講師の方がたくさんおられて分散しすぎたと思います。もう少し、植物の話ゆっくり聞きたかったです。」  
「とても楽しかったです。(2)」  
「初めてなので、ちょっときつかった」  
「聖山・高岳が縦走できてよかった」  
「皆様植物やせしくおしえていただきうれしかったです」  
「いろいろな植物すべて名があり、感触など確かめながらとても勉強になりました」  
「長かったです。たまにはいいんじゃないでしょうか」  
「前半はゆっくり丁寧に植物を教えてくださいととても勉強になりました。後半は登山もできて景色もよく良い汗がかけて気持ちよかったです」  
「山登りがあり、植物観察もあり知らない事もわかった」

## 観 察 会 報 告

### ●霧ヶ谷湿原の植生モニタリング 夏

開催日時:2009年6月27日(土)9:30

講師:小宮啓吾,佐久間智子,白川勝信

霧ヶ谷湿原の再整地で行う, はじめての植生モニタリングには, 6人の参加者が集いました。調査に入る前に, 高原の自然館内で, これまでの調査結果や, 今日の調査目的を確認しました。参加者の認識を共有した後, 快晴の空の下, 現地に向かい, 打合せをした後で, 3つの班に分かれました。少人数だったこともあり, 慣れた調子で調査を進めました。今回の調査は, 秋以降も, 年2回の頻度で続けていく予定なので, 散策道の設置が予定されているルートに添って, 行われました。これは, 工事完了後も, 湿地にできるだけ踏み込まずに調査ができるように, という配慮からです。13時近くに, 予定していた14地点の調査を終えました。各班の状況を報告し, それぞれの印象を発表しました。イが優占する場所や, 工事後のような場所でも, 見た目よりもかなり種数が多いことが分かりました。全ての班を通じて, 最も種数が多い地点では, 1m×1mの中に26種が確認されました。一方, 最も種数が少なかったミゾソバの群落では, わずか6種が確認されたのみでした。実際に調査してみると, 実験地とも状況がかなり異なることが分かりました。特に, 工事の際に重機で土を動かした場所ではイが繁茂し, 土を動かさずに水が廻った場所ではマアザミ群落に近づいていることが分かりました。今後も, どのように植生が変化していくか楽しみです。第1回の調査として, 良い調査ができたと感じました。[しらかわかつのぶ]



ミゾソバが占有していたプロット。



フランス菊のお花畑。外来種の強さに驚く。見た目はきれいでも, 思いは複雑。



水辺には, 工事の影響が見られた。



1m×1mの中にある植物を、全て記録した。



最後に各班の様子を発表しあった。



右側が1班, 左側が2班のメンバー. 気温が高く, 日差しも強い日だったので汗だくになりつつ調査した。



傍らのノイバラにとまっていた, 小さなゾウムシ。

### 【みなさんの印象に残った物】

「川のむこう側は, かなりマアサミ群落に近づいていた. 工事の時に土を動かさなかったのが良かったのか?」「フランスギク (2)」「フランスギクのお花畑 (2)」

### 【参加したみなさんの感想 (抜粋)】

「これから先が楽しみです」「少人数でしたが, ゆっくり, じっくり観察できてとてもよかったです.」「湿地になってきている部分がどうなっていくのが楽しみです.」「外来種は, 何か必要なのかと感じます.」「湿地によみがえる事を望むばかりです.」「外来種の力の強さを感じました.」

## 観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

**基本セット**：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳  
**作業セット**：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

### ● 霧ヶ谷の観察会 夏のいきもの観察会

開催日時：2009年7月5日(日) 9:30  
集合場所：高原の自然館  
講師：岩見潤治・和田秀次  
準備：基本セット、お弁当、長靴  
定員数：30名  
参加費：一般=300円  
賛助会員=100円  
正会員・中学生以下=無料

自然再生事業地である霧ヶ谷湿原に生息する植物や昆虫の観察会です。湿原に復元した場所ではどんないきものが見られるのでしょうか？再生事業地の現状も見学したり、いきものつながりを感じながら観察をすすめます。植物・昆虫とそれぞれの先生からのお話も楽しみのひとつです。午前と午後で、ふたつの湿原を観察します。



### ● こども観察会

開催日時：2009年7月26日(日) 9:30  
集合場所：高原の自然館  
講師：岩見潤治・小宮啓吾・佐久間智子  
準備：基本セット  
定員数：30名(小学生)  
参加費：小学生=100円

夏休みの小学生向けの観察会です。草原にいる昆虫や植物をみたりさわったりして、観察しましょう。親子で道具を作ったのバツタ釣りも体験できます。専門家の先生のお話をきくことのできる、チャンスです！この機会にたくさん質問してみましよう。



梅雨入りしたものの、晴れた日が多く、雨が降ってもさっと止んでしまいます。農作物やいきものに影響がでないか少々心配です。湿原を歩くと、ハンカイソウ、クサレダマ、オカトラノオなど初夏の花が咲き始めました。ホタルも飛び始めたようです。夕方を過ぎると気温が下がり、もう一枚服を着るときに「八幡だなあ」と思う今日このごろです。(このの)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先  
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

[staff@shizenkan.info](mailto:staff@shizenkan.info)